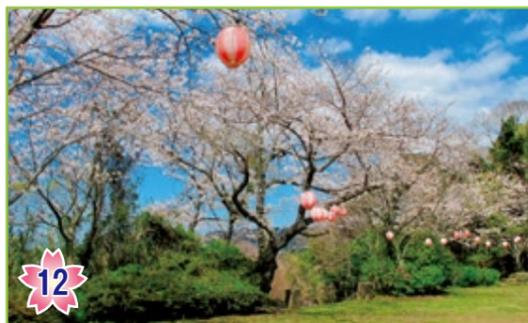




西有家天満宮

(西有家町里坊)

西有家町須川の街並みを一望できる天満宮。逆に天満宮の桜は、須川のどこからでも見ることができることから、近隣の人々は、春の訪れをこの神社の桜から感じるのだそうです。



忠霊塔

(加津佐町愛宕町)

加津佐町愛宕町の高台から加津佐の街並みを望む忠霊塔。戦没者が祀られるこの公園では、地元を中心に花見客が訪れます。



大浦城本丸跡

(西有家町里坊)

大垣城(西有家町慈恩寺)の出城(室町時代初期)。別名里坊城ともよばれるこの城跡の桜は、背の高い桜が多いことが特徴。場所はわかりにくいですが、それゆえに、発見した時の喜びも格別です。



訪れる高齢者を楽しませるローンボウルス場の藤の花(西有家町里坊)

いにしよ春到来。花と新緑に包まれた南島原市の春を、皆さんも存分に味わってほしいと思います。



まだまだ桜の見どころ大集合!

口之津公園

(口之津町大泊)

口之津港の入り口、港を見下ろす高台にある口之津公園。遠い昔に灯台として利用されたという「唐人常夜灯」があり、口之津港の歴史を偲ぶことができます。なんばんだ橋、青空とのコントラストは、秀逸。



太郎崎天満宮

(有家町堂崎)

堂崎にある太郎崎天満宮の桜は、島原方面から国道251号線を走ると、真正面に見えます。車窓からも楽しめます(運転はご注意ください)。すぐ隣の石畳からの眺めは情緒豊かです。なお、ほかにも、堂崎では、八幡神社の桜も人気があります。



かづさふれあい公園

(加津佐町野田)

旧岩戸グラウンド。木下川の水質改善のための浄化施設と併せて整備された公園で、ビオトープ(人工の水辺)などに野鳥が集まります。桜の並木路の散歩は特にお勧めです。



権田公園(加津佐町)

西の玄関口、加津佐の中でもさらに西にある権田公園の桜はあでやか。ですが、それだけではありません。時期になると、多くのメジロが桜の花に集まります。権田公園の管理人を務める森川克治さんによると、「権田公園のメジロは人に慣れているのか、あまり逃げません。運がよければ、近くで見ることができそうです」とのこと。
花札の「梅に驚」ならぬ「桜にメジロ」。その愛らしい姿をご覧ください。



吹く風の誘ふものとは知りながら
散りぬる花のしひて恋ひしき
—詠人不知—

今年も春がやってくる

人それぞれに、自分の桜の風景がある。南島原市にはほかにも花がいっぱい!

今回は、桜のある公園、神社を中心に特集しましたが、今回紹介した場所以外にも、市内には、多くの桜が植えられています。
指折り数えて、桜の開花を待ち、散りゆく桜にため息する。そんなお気に入りの桜が、皆さんの周りにもあると思います。今年も新たな「お気に入り」を探しに、出かけてみてはいかがでしょうか。

ところで、自然豊かな南島原市には、桜、ひまわり以外にも花の名所が多くあります。布津こんぴら公園や福祉福祉協議会西有家支所横のローンボウルス場の藤の花(4月下旬から5月中旬ごろ)もきれいですし、5月には、口之津公園や、戸ノ隅公園(西有家町)のツツジの見ごろを迎えます。また、5月中旬には、有家の新切地区では、梨畑を真っ白な花が覆うなど、枚挙にいとまがありません。花いよいよ春到来。花と新緑に包まれた南島原市の春を、皆さんも存分に味わってほしいと思います。